

力	カ	開	追	特別	寄	連	特	寄	旅	寄	寄	力	力	声
ラ	ラ	山	山	読	連	寄	別	寄	行	寄	寄	ラ	ラ	128
一	一	一	一	稿	稿	稿	稿	稿	稿	稿	稿	稿	稿	一
鶴見大学 国際的視野と慈悲の精神	二十一世紀の使命	開山・煤庵白純大和尚二十三回忌厳修―育英生へ辞令伝達	善光寺開山煤庵白純大和尚二十三回忌	「瑩山禪師の碑」黒田倫子夫人寄進 京都・清水寺の境内に	現代中国の観音信仰	くらしの中で読む『正法眼蔵』面授の巻・その七	台湾仏教界へ袈裟百肩	袈裟百肩台湾仏教会へ 贈呈式	ワット・パクナム訪問記	仏教と日本文化	痛・動脈硬化から身を守るには	日本仏教雑感―私の目にうつった日本仏教	生涯ただ一筋に―曹洞宗学会の乾坤第一峯	留學育英僧 辞令交付式
黒田 武志	高崎 直道	池澤 紫山	鎌田 良昭	佐々木 宏幹	小倉 玄照	國廣 敏郎	山北 敏郎	山北 敏郎	中村 治雄	東 隆眞	東 隆眞	東 隆眞	東 隆眞	東 隆眞
16	24	41	46	49	52	57	67	76	81	85	92	98	100	116

読者のたよみ 134

題字・イラスト 伊藤三喜庵

巻頭言

善光寺住職 黒田 武志

西暦二〇〇一年即ち二十一世紀を迎え、善光寺界隈も花の春から緑滴る夏となり、飛来する小鳥のさえずりに忘我の一刻。気がつけばこの年も早や折り返しにあり、いかにも日月は待ってくれません。すでに諸々の機会に申し上げておりますが、善光寺は新世紀に臨んで、豊かな未来を開く寺としてその使命に燃え、仏法興隆と人類の安心・平和・幸福を祈念し、一隅に光明を与えて参りたいと誓願しております。

『成寿』夏季号は学校法人總持学園（鶴見大学、同短期大学部、鶴見女子中学・高等学校）の特集をさせていただきました。学園は總持寺ご開山・瑩山禅師の「女人済度のご誓願」の精神を今に活かそうと、大本山總持寺が大正十三年に設立し

た光華女学校にはじまり、現在では時代の趨勢によって大学・同短期大学部（一部を除く）は男女共学です。学園の教育の基本理念に「大覚円成 報恩行持」を指標とし、四摂法（布施・愛語・利行・同事）を実践目標として掲げていることは、他には見られない大きな特徴と言えましょう。

瑩山禅師は道元禅師の法を受け継ぎ、「衆生済度」を第一義として普くこれを大衆教化され、禅風を広く社会に弘められました。さらには諸山を創建、数多くの門人を輩出し、曹洞宗の普及とその基盤形成に大いなる役割を果たされました。宗門では道元禅師を「高祖」と仰ぎ、瑩山禅師は「太祖」と崇め「常済大師」として追諡、宗門の父とも母とも讃仰されております。

瑩山禅師が説かれた「平常心是道」の平常心とは外界と内面の自我から生ずる刺激に染活されず、自由に羽ばたく心の落着いたさまであり、常に変わらぬ平穩な心の世界。まこと千変万化する生活の中で、確かな生命の感覚をもつなら、これこそ悟りの生き方であり、実に美しい人生道でありましょう。私たちもこの教えに学び行じ、世界の人人々に新しい世紀が平和で豊かなものになるように、希望の光をしっかりと灯し続けて参りたいと祈念致します。